

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県立北九州勤労青少年文化センター
- 2 指定管理者名：JR九州サービスサポート・岡崎建工・日本施設協会共同企業体
- 3 指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日
- 4 施設設置目的：勤労青少年の福祉を増進するため、勤労青少年に対し、教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の便宜を提供する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
 - (1) 点検方法：事業報告書、ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果：別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的を踏まえ、勤労青少年向けの様々な教室や事業を実施し勤労青少年の福祉の増進に寄与する。 ・県や関係団体、地域と連携を図り、地域活性化や親しまれる施設づくりを実施する。 ・施設を利用する全ての個人・団体が平等に利用できる管理運営を実施する。 ・障がいのある人や高齢者の方が快適、便利に利用できるよう、プライバシーの保護等の基本視点に基づくサービスの提供とともに、利用料減免等の施設利用支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年を主な対象とした職業的自立支援講座（行政書士講座、メンタルヘルス講座等）、文化教養講座（語学学習、ペン習字、デッサン等）、健康増進講座（卓球、テニス、エアロビクス等）、スポーツ大会等（ソフトバレーボール大会、テニス大会等）のイベントを実施し、勤労青少年に対する教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の便宜の提供を行った。 ・勤労青少年等のキャリア形成、相談等に係る事業として、「しごと将来なんでも相談室」（毎週木曜日）を実施した。 ・地域の植物園と連携し、美化イメージと集客アップを図った（「ふれあい花壇」）。 ・公平公正な利用許可等に関する事務を行うとともに、円滑な窓口対応のためのマニュアル等を整備するなどサービス向上に努めた。 ・障がいのある人、高齢者等には利用料金の減免制度を適切に運用するなど、利用の促進を図った。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな自主企画事業により、「働く若人のオアシス」と「地域のコミュニティの場」を提供する。 ・広報誌の作成やホームページを活用した情報発信等により効果的な広報を行い、利用を促進する。 ・提案箱の設置、定期的なアンケート調査の実施により、利用者の声を随時把握し、サービスの向上を図る。 <p>目標利用者数（令和4年度）：250,000人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教養講座（96講座）、健康増進講座（102講座）、職業的自立支援講座（4講座）、スポーツ大会等（ソフトバレーボール大会、テニス大会等）を実施し、施設利用の促進を図った。 ・ホームページによる情報発信、北九州市内JR各駅、図書館等へのパンフレット、チラシの配布等を行うとともに、施設周辺自治会の回覧板を活用してセンターの利用案内の周知を図る等、広報活動に努めた。 ・施設の維持及び保守に関して、利用者の安全面を最優先に考え、衛生面・利便性も考慮し、施設の保守、整備に努めた。 ・「まちかど救命士」のいる事業所として安心安全な施設の管理運営のために、①消防訓練・消火器取扱い訓練 ②AED（自動体外式除細動器）の設置 ③「まちかど救命士のいる事業所」の表示を実施した。 ・「ご意見箱」の設置やアンケート調査により、利用者からの要望等の把握に努めた。 <p>【利用者数】 216,648人（対前年度 +47.0%、対R1年度（コロナ前）△22.7%） 【施設稼働率】 82.1%（対前年度 △0.8ポイント、対R1年度（コロナ前）△4.4ポイント）</p>
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズや内容を勘案した上で適正な自主事業受講料金を設定するとともに、電気代等の経費節減に努める。 <p>目標利用料収入（令和4年度）：19,800千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る施設の臨時休館がなかったことなどにより、昨年度と比較して利用料収入及び自主事業収入は増加しており、コロナ前（R1）に近い水準まで回復している。 ・光熱費などの物価高騰により管理運営に係る費用が増加した。 ・収支改善に向け、経費節減に努めるとともに、施設の利用促進に向けた広報活動に積極的に取り組んだ。 <p>【管理運営費】 114,551千円（対前年度 + 8.8%、対R1年度（コロナ前）+11.0%） 【利用料収入】 18,103千円（対前年度 +42.4%、対R1年度（コロナ前）△2.8%） 【委託料】 9,410千円（対前年度 △0.2%、対R1年度（コロナ前）+6.8%） 【自主事業収入】 24,619千円（対前年度 +50.6%、対R1年度（コロナ前）+2.9%）</p>

④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容に応じた専門職員や責任者を配置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の管理運営のノウハウを有する職員を配置し、安定した管理運営とサービス提供を行った。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規程に基づく適正な管理を行う。 ・災害等に対する具体的な危機管理体制のもと、安全確保を図る。 ・事故に対する補償体制を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用に関する問い合わせメールを回答する際に誤送信が発生した。発生後は本県に事案の報告をするとともに、誤送信の相手に事案の説明及び謝罪を行った。また、再発防止策として、外部へのメール送信時におけるダブルチェックや、個人情報を含む添付ファイルへのパスワード設定を徹底した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、入館者の体温チェック、施設利用者の記録を行うとともに、施設内の換気などを着実に実施した。 ・消防訓練を年2回実施するとともに、「普通救命講習」の受講やAEDの設置等、不測の事態に備えている。 ・施設賠償責任保険等に加入し、万一に備えた補償体制をとっている。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+ (提案内容を上回った) <input type="checkbox"/> A (提案内容をやや上回った) <input checked="" type="checkbox"/> B (概ね提案内容どおり) <input type="checkbox"/> C (提案内容をやや下回った) <input type="checkbox"/> D (提案内容を下回った)	<p>【総合コメント】</p> <p>勤労青少年をはじめ、多くの利用者に教養の向上及び健康の増進の場を提供するとともに、多様な自主事業を実施することで、勤労青少年等の福祉増進に寄与している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る施設の臨時休館がなかったことなどにより、昨年度と比較して利用料収入及び自主事業収入は増加しており、コロナ前（R1）に近い水準まで回復している。一方で光熱費等の物価高騰の影響により、管理運営費が増加したが、施設の利用促進、収支改善に向けて、駅・図書館等の公共施設に利用案内を置くなどの広報活動に積極的に取り組むとともに、経費節減に努めた。また、アンケート調査の実施によりニーズの把握を行うなど、利用者の視点に立った運営が行われている。</p> <p>以上のとおり、光熱費等の物価高騰の影響により経営改善に苦戦しているものの、県の方針を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策に迅速に対応する中で、施設の利用促進に積極的に取り組んでおり、概ね提案内容どおりの適切な管理運営がなされているものと判断する。今後は、さらなる施設の利用促進に向けた取組を進めていく必要がある。</p>
--	--